

第3回女性の活躍促進プロジェクトチーム会議 会議要旨

1. 日時：平成26年6月27日（金曜日）午前11時～正午

2. 場所：大阪市役所7階 市会第3委員会室

3. 出席者

榎村久子特別顧問、大賀公子特別顧問、佐野由美特別参与、

広田和美議員（大阪維新の会）、島田まり議員（公明党）、北野妙子議員（自由民主党）、

山本修子議員（OSAKAみらい）、山中智子議員（日本共産党）、

（プロジェクトチーム）

京極務副市長、市民局長、市民局女性活躍促進担当部長、

女性の活躍促進プロジェクトチーム委員（関係区長、関係局長）

（ワーキング・グループメンバー）

女性の活躍促進プロジェクトチームワーキング・グループメンバー（課長級の女性職員）

4. 議題

（1）大阪市女性の活躍促進アクションプラン（案）について

（2）大阪市女性の活躍促進アクションプラン（案）パブリック・コメントの実施について

（3）内閣府地域女性活躍加速化交付金事業について

（4）その他

5. 議事要旨

（1）大阪市女性の活躍促進アクションプラン（案）について

素案からの変更点を中心に説明を行い、特別顧問、特別参与から助言をいただき、各会派の大阪市議員、プロジェクトチーム委員、ワーキング・グループメンバーを交えて意見交換を行った。

（2）大阪市女性の活躍促進アクションプラン（案）パブリック・コメントの実施について

実施スケジュール案等の説明を行った。

（3）内閣府地域女性活躍加速化交付金事業について

事業の趣旨・内容、実施主体団体・共同実施団体の役割等について説明を行った。

（4）意見等の概要は以下のとおり

・「働く女性を支援」では「働きやすさ」が強調されているが、「意欲のある女性が活躍し続けられる」ということを重視されたい。

・イクメンやカジダンを推し進めていくことは、地域の活動にも参加できるような職場環境を企業と一緒につくっていくことだと思うので、イクメン（地域で活躍する男性）の要素も加えてもらいたい。

・子育てを終えられた方たちが何か社会の役に立つきっかけを模索しているので、そのためのシンポジウムを行政でも企画してはどうか。

- ・ハブ的機能の創設について、出来る限りいろいろな方に参加してもらおうとするなら誰でも気軽に集まれる場が大切だと思う。大阪市の施設は指定管理も多く、指定管理を行う際に地域の市民活動に場を提供するというような一文を入れることも検討してはどうか。
- ・区民の半分、あるいはそれ以上が女性であり、その意見をいかに区政へ反映させるかという事は重要な視点であり、実効性のある取組みをお願いしたい。
- ・推進体制について、大阪市会各会派「女性議員」と限定されているが、男性も加わって考えるべきことではないか。
- ・各事項を横断するようなネットワークの機能が必要ではないか。
- ・「大阪ならではの」の視点がほしい。

(5) 今後の対応

- ・いただいたご意見をもとに、関係先とも協議しプラン案をより充実させる。
- ・修正したプラン案について、パブリック・コメントを7月29日から8月28日まで実施し、その後プランを公表する予定である。

6. 会議資料

資料1 大阪市女性の活躍促進アクションプラン（案）

資料2 大阪市女性の活躍促進アクションプラン（案）に係るパブリック・コメントについて

資料3 内閣府地域女性活躍加速化交付金事業について